

一 慣用句かんくを作りましょう。() () に合う言葉を下の口から選んで、
(10点×8問)

- (1) () () がたたない …… かなわない
- (2) () () が高い …… じまんに思う
- (3) () () をかす …… 手伝う
- (4) () () が広い …… 知り合いが多い
- (5) () () をつぐむ …… だまってしまう
- (6) () () がいたい …… 弱点をつかれてつらい
- (7) () () を運ぶ …… わざわざ出かける
- (8) () () を落とす …… がっかりする

いくつかの言葉が組み合わさって、新しい意味をもつ
ようになった言葉を慣用句かんくというよ。



顔	手	鼻	歯
足	口	耳	かた

点

二 右に出てきた慣用句かんくを使った文を考えましょう。(10点×2問)

【例】足がぼつになる ↓ 山登りをしたので、足がぼつになった。

(1)

(2)

一 () () に合う言葉を下の口から選んで、

慣用句を作りましょう。(10点×8問)

点

(1) () () を売る …… くだ話をして時間をすごす

(2) () () をのむ …… おどろく

(3) 話() () がさく …… 会話がはずむ

(4) あとの () () …… 手おくれ

(5) () () を食う …… くだな時間を使う

(6) () () が合う …… 気が合う

(7) () () …… 顔かたちがよくにている

(8) () () をつかむ …… とらえどころがない

分からない慣用句は
辞書で調べてみよう。



二 右に出てきた慣用句を使った文を考えましょう。(10点×2問)

【例】借りてきた猫 ↓ 弟が、借りてきた猫のようにおとなしかった。

(1)

--

(2)

--

馬	うり	油
	道草	雲
まつり	花	いき

